

勝山高校生の声(Voice)をお届け！！

令和元年 9月 26日 発行

岡山県立勝山高等学校

TEL (0867) 44-2628

URL <http://www.katuyama.okayama-c.ed.jp/>

# 高 勝高 Voice

## 第 4 号

令和元年度第20回

# 鼓山祭

令和元年 9月 4日・5日 (文化の部)  
6日 (体育の部)



**鼓山祭**、それは毎年勝高生が心待ちにしている、3日間にわたる学校祭。今年も鼓山祭は在校生にとって忘れられない思い出となりました。仲間とつながることの大切さ。困難を乗り越えてこそこの感動。体育祭クライマックスの全校生徒による肩を組んでの校歌大合唱。勝高Voice第4号は、鼓山祭の立役者である、各団団長から中学生の皆さんへ、熱いメッセージをお届けします！

## 総合優勝 赤団

(14・21・23・32 HR)

～仲間たちの支えで総合優勝へ

最初団長という大役を任された時は、これからどうやってみなをまとめていこうかと不安な気持ちになり、とても緊張しました。しかし、仲間たちの支えのおかげで、赤団は総合優勝することができ、最高の思い出になりました。例えば、準備期間中、演技内容など様々な場面で、多くの人が積極的に意見を出してくれました。また、団長である僕が提案した意見も受け入れてくれ、皆が一つになって進めることができました。赤団は舞台A・B・パネル・応援・競技と展示以外の部門すべての部で優勝することができました。脚本が面白く、演技も工夫があった舞台A。迫力があり印象に残るパネル。しっかり練習をし、とても息が合っていたダンス(舞台B)。展示については、優勝は逃しましたが、科学実験を体験できるという新しい取り組みでとても面白いものことができました。今回の優勝は、団全員が一つになれたからこそだと思います。団長をして、とても良かったと思っています。ぜひ僕たちと一緒に、鼓山祭で思い出づくりをしましょう。お待ちしております。



団長 宮地 宗士郎 (大佐中出身)

## 黄団 団長 川崎 壱星（久世中出身）

(13・22・31・34HR)

### ～人との協力が成功につながる

私が、団長を務めて学んだことは「人と協力することで成功につながる」ことです。優勝しようとして、お互いの意見がぶつかることが何度もありました。しかし、去年の応援だった先輩たちのアドバイスや先生方の支えもあって、本番では、皆すごく楽しそうで、一人一人が輝いていました。最高の鼓山祭にできたと思います。可愛らしくて見ていて楽しくなるダンスや、面白くて個性的な劇。応援合戦は、毎日声出しなどの練習を繰り返したので納得のいく出来栄え



になりました。鼓山祭が終わった後に「団長ありがとう」「最後の鼓山祭で壱星が団長で良かった」などと言ってもらい、涙が止まりませんでした。勝山高校は一人一人が輝ける場所です。鼓山祭でも一人一人に役割があり、みんながそれぞれの役割を果たさないと、良いものができません。また、鼓山祭の他にも素敵な体験ができるイベントがたくさんあります。中学生のみなさん！人生一度きりの高校生活で最高の青春・感動を味わいたいのなら、ぜひ勝山高校に来てください！



## 青団 団長 安藤 正真（大佐中出身）

(11・12・24・33 HR)



### ～青団のみんなありがとう

### 助けられたのはむしろ僕だった

私は団長を務めることを通して、人をまとめることの大変さ、人と協力することの大切さを感じることができました。今年は、新しいことに挑戦しようということになり、団席で文字を作ることになりました。ポンポンを作ったり、どうやったら綺麗に文字ができるかなどを毎日色々考えました。本番成功した時は、達成感とありがとうという気持ちで一杯になりました。「安藤が団長でよかった。」と言ってもらえましたが、本当に助けられていたのは自分のほうだったと思います。応援だけでなく、それぞれのパートの人たちも新しいことに取り組もうと努力している姿は本当に感動的でカッコよかったです。賞状は一つももらえなかったけど、結果よりも大切な絆・思い出が

できました。鼓山祭は一つの

ドラマが生まれます。ぜひ、勝高に来て、皆でもっと良い学校を一緒に作ろう！

